

2021～2022 年度
週報



R I 会長 シェカール・メータ

R I テーマ 『奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために』



地区ガバナー 水村雅啓

地区テーマ 『もっと夢を もっと奉仕を』

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー

第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川 4-25-3 TEL 04-2954-9595

〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366

HP: <https://www.schuohrc.org> E-mail: schuohrc@p1.s-cat.ne.jp

会長 菊田邦彦 会長エクト 渡邊高治 副会長 寶積英彦 幹事 小林奈保絵

[第3グループ 例会日: 新狭山◎ 入間◎ 入間南◎ 飯能◎ 日高◎ 狭山中央◎ 所沢◎ 新所沢◎ 所沢西◎ 所沢東◎ 所沢中央◎]

第1292回 (4月8日) 例会の記録

点 鐘 菊田邦彦会長
合 唱 四つのテスト
第2副SAA 佐々谷会員 柴田会員

出席報告 出席向上委員会 < 沼崎正徳 委員長 >

会員数	出席者数	出席率
20名	18名	94.74 %

会長の時間

菊田邦彦 会長



今日は自分の仕事のことを少しお話しさせて頂こうと思います。

私は不動産業の仕事をしておりますが、今狭山市の空き家相談の協議会委員をさせて頂いております。

狭山市には現在570軒(統計上)もの空き家があります。

その一件一件のお客様と連絡をとり、今後の対策を伺っておりますが、「相続した家がいらなくなってしまったのでどうしたらいいでしょう」という回答が一番多いのです。仕事で狭山に来て家を買ひ、子供を育てて生活をしていたが、大人になった子供たちは狭山市以外に行ってしまうそこで定住している。子供からしてみれば、その空き家は自分が生まれ育った実家ですが、生活の場を変えた今は不要なモノとなってしまったのです。

家の中も、このまますぐに生活できそうなくらいモノが置きっぱなしの状態。懐かしいアルバムさえも

「いない」と。。。とても寂しい気持ちになります。私も仕事で狭山に来て、家を見て子供を育てました。私も妻も東京都出身なので田舎がありません。ある日子供に「うちにはどうして田舎がないの？」と泣きながら聞かれたことがありますが、今私がやっているこの仕事は、田舎を処分するお手伝いでもあるようで、寂しいような悲しいような何とも言えない感覚なのです。

たまにテレビの「ぼつんと一軒家」を見るのですが、なぜこんな人里はなれたところに住んでいるのか尋ねると、親の代に建てた家をほったらかしには出来ないからだと言います。

狭山市内の空き家所有の方々にも、是非戻ってきて生活をしていただきたい。狭山が“ふるさと”になってくれるといいなあと思っています。

幹事報告

< 小林奈保絵 幹事 >

報告

- ・5月のプログラムが理事会で承認
- ・5月6日に「第7回日台ロータリー親善会議」が福岡で開催
- ・事務局より
4月5日時点の「預り金明細書」をお配りしましたのでご確認ください。尚、残金が不足している場合はご入金くださいますようお願い致します。ご不明な点がありましたらご連絡ください。

受贈会報

- ・所沢中央 RC

回覧

- ・米山梅吉記念館より「館報」及び「賛助会員募集のお知らせ」

他クラブ例会変更のお知らせ

- ・入間 RC 飯能 RC

委員会報告

- ・ 社会奉仕委員会 < 江原伸夫 委員長 >



ひまわり倶楽部「賛助会員」 ご協力の再度お願い

ひまわり会員	1口	12,000円(年間)
たんぽぽ会員	1口	6,000円(〃)
クローバー会員	1口	2,000円(〃)

一人でも多くの方のご協力をお願いいたします！

- ・ R情報・雑誌委員会 < 若松泰誼 委員長 >

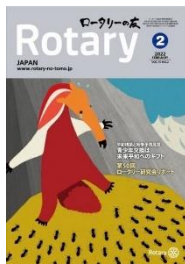


「ロータリーの友2月号」の紹介 【横組み】

平和構築と紛争予防月間
青少年交換は未来平和へのギフト (P7-13)
Rotary projects around the globe
世界中のロータリープロジェクト (P30-31)

【縦組み】

この人訪ねて 岩瀬浩介さん (P9-12)
卓話の泉 (P13)

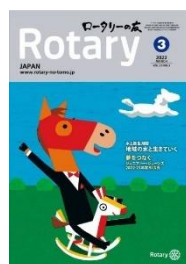


「ロータリーの友3月号」の紹介 【横組み】

世界ローターアクト週間
知っているようで知らない
ローターアクトの基本 (P14-15)
RI 会長エレクトインタビュー
夢をつなぐ (P16-21)

【縦組み】

語り継ぐ震災 今、あなたと共に (P4-8)
卓話の泉 (P13)



「ロータリーの友4月号」の紹介 【横組み】

母子の健康月間
育児と生理の大変さを知る (P7-13)
アンケート
女性会員に聞きました (P14-19)

【縦組み】

命を頂いてつないでいくこと (P4-8)
この人訪ねて カール・ベンクスさん (P9-12)
卓話の泉 (P13)



会員卓話



おおの ひろかず
大野 裕一 会員

今日は、最近経験したことと、私の仕事でもあります介護業界の最近の状況についてお話しさせていただければと思います。

最近経験したこと

現在コロナ過で、県内の多くの施設でクラスターが発生しています。埼玉県老人福祉施設協議会の集計によりますと、令和4年に入ってからの3ヶ月で特別養護老人ホームだけで50以上の施設でクラスターが発生しております。

私が施設長をさせていただいております『むさしの園』でも、2月に入ってから大規模クラスターが発生してしまいました。終息するまで約2か月かかり、つい先日隔離解除となりました。

普段からの厚労省や埼玉県が推奨する感染対策は実施し、症状が出始めてからもゾーニングなどを行うなどの対応を実施しましたが、PCR検査を実施した際には、既に10名を超える方たちが感染をしていました。

ほぼすべての入居者、職員がワクチンを接種しておりましたが、ワクチンの効果は個人差もあり、陽性の方については無症状の方もいらっしゃれば容態が急変するかたもいらっしゃり、最初の症状が出始めてから3

日ほどで数十名に感染が広がっていました。中にはPCR検査陰性だった方が翌日には陽性に転じている方もおりました。職員も感染したことによって、陽性者の自宅待機は10日間出勤できませんので、私も現場の介助に入り、法人全体からもヘルプ職員を派遣して対応していました。併設するデイサービスなどは、特養へ応援を出すために2週間休業もしていました。

今回のクラスターで、感染対策を実施していても完全に防ぐことはとても難しいことと共に、感染することで普段お元気な方も急変される可能性もあることを目の当たりにしたことで、コロナの怖さを再認識しました。

介護業界の最近の状況

さて、本題の介護の最近の状況ですが、特養に関してなかなか入居ができないといううわさも広まっていますが、それは一部の地域に限定されています。都内23区などは、施設を建てる土地自体がなかなか見つからない為、施設の総数事態が増えづらい現状がある為、待機者が多いというのは事実としてあります。そのため首都圏では、ここ10年で埼玉、千葉、神奈川、群馬、茨城に都内からの入居者受け入れを想定して新規介護施設の開設を増やしてきました。その結果受け入れ施設は増えましたが、介護を担う働き手が足りないという状況が生まれてしまいました。職員がいないから入居ができないといった現象が起きています。



職員の待遇面は、少しずつ改善をされてきましたが、そもそも人手不足から海外の働き手確保として、1993年から始まった技能実習制度の中で介護の技能実習生の受入れが3年ほど前から始まっております。この制度は、業種によっては近代の奴隷制度と言われているくらい課題がある制度としても賛否両論あります。

当施設でもミャンマーとモンゴルから技能実習生を受け入れていて、今後は海外の労働力に依存する割合が業界として増えてくると思います。

このような人手不足の背景がある中で、国が現在検討しているのが、「人員配置基準4:1への緩和」です。緩和というと良くなるようなイメージを持たれるかと思いますが、現在の人員配置基準は常勤換算3:1となっています。これは常に利用者3人に対して職員が1人ついているというのではなく、1日を通じて職員の労働時間の総数が3:1になっているかという考え方がなります。これに対して「4:1」となると「今より少ない人数でもいいですよ」という改定を検討しているということになります。条件としては介護をIT化することで人員配置基準を緩和しようという方針が打ち出されています。介護現場は、3:1では入居者の安全を確保できない事や職場環境の改善ができないことから、実際の

人員配置は全国平均で2:1とされています。つまり、国は今の半分の職員数で施設運営をすることを想定していることとなります。

では、介護のIT化とは何かという問題がありますが、システムやカメラや介護ロボットとされています。勿論効率が上がるものもあります。ただし入居者の対応は最終的に人が対応しなければなりません。システムやカメラの操作も人が担います。介護ロボットはパワードスーツが実用され始めていますが、着脱が大変だったり高額であったり課題も残っています。どれも人手が必要なモノで、国が検討している人員配置の緩和と現場の実態が噛み合っていない状況です。

現在の介護施設の労務費率は65%前後とされていますが、4:1の基準緩和を国に提唱している有識者というのが、民間の大手介護事業所です。つまり利益を伸ばしたい企業と介護保険の財政負担を減らしたい国の思惑が合致しているようにも見えてしまいます。

このような動向をふまえると、介護施設の選び方も変わってきてしまいます。今までは、施設を選ぶ際のポイントとして上位3つは「価格」「アクセス」「雰囲気」でした。つまり選ぶ際には、入居者本人の視点ではなく、ご家族の視点で「安くて」「近くて」「対応がいい」施設を選ばれていることが多いということがわかります。介護保険上の基準やサービス内容というもののよりも、ご家族の生活状況に合わせた選択が中心になっていることが考えられます。これも共働きが増えている社会的背景を考えると仕方ないことです。しかし、介護のIT化や人員の削減といった方針が今後具体的に変わってくると施設の安全性を確認することが大切になってきます。もちろん各施設安全に配慮はしていますが、人員基準が緩和されることで現場での事故が増える可能性があります。それでも「国の基準は満たしているから問題はありませんでした」と割り切る施設が増えてしまわないかとても心配です。

特養の全国団体では、この人員基準緩和の方針に対して時期尚早と見直しを提唱していますが、国の判断がどちらに転ぶかは政治家のみぞ知るといった状況です。

施設の安全面を知る為には、実際に施設へ見学や問合せをして職員の人員基準を確認する事も大切です。インターネットで調べることも簡単ですが、最近では、入居の紹介会社が検索上位をしめております。すべての紹介サイトが悪いとは言いませんが、営利企業なのは間違いありません。紹介料は年々高騰していますので、悪いサイトに当たってしまうと売上目的の施設紹介になってしまうリスクもあります。

介護は、身近に介護を必要とする方がいないかぎり介護について学ぶ機会や調べようと思うことすらないと思います。バブルのころは悠々自適なセカンドライフをうたって、高級老人ホームの見学が流行った時期もあったと聞いていますが、そのころの高級老人ホームは倒産しているところも多く、継続されているところは数少ないうえに建物も30年以上経っている施設がほとんどです。

「介護が必要になったから」施設を探す、調べるではなく、最近定着してきた終活のようにポジティブな意味で介護施設を知る機会が増えてくると良いと思います。皆さんも周りに介護の相談がありましたら、「介護が必要になってしまった」と悲観するのではなく、「こんな介護サービスがあったよ」と介護をポジティブにとらえられるようになっていただければと思います。介護に関するご相談でしたらお役に立てることもあるかもしれませんので、是非お声がけください。



ニコニコボックス

- 菊田君 四月に入りすがすがしい日よりになりました。皆様今日も例会御出席ありがとうございます。大野裕一会員卓話よろしく申し上げます。たのしみにしていました。
- 小林君 春霞の中、また稲荷山公園を散歩してきました。桜の木の下には花びらのじゅうたんができていました。たんぽぽ、おいぬのふぐり、スマレも顔を出していて、これから春の花が盛りを迎え嬉しくなります。本日もどうぞよろしく申し上げます。
- 江原君 大野様、本日の会員卓話を宜しくお願い致します。
- 浜野君 大野様、本日の卓話楽しみに来ました。宜しくお願い致します。
- 寶積君 きれいな桜がまだ残るあたたかい日です。医療界では本年初旬より猛吹雪でございます。本日は大野裕一会員、明るい卓話楽しみにしております。
- 稲見君 大野会員、今日の卓話楽しみです！
- 小島君 大野会員の卓話楽しみにしていました。宜しく申し上げます。
- 宮岡君 4月の1日の例会で喜寿77才の誕生のお祝をいただき、家へ帰ってから中を見ましたら大金が入っていてびっくり致しました。心ばかりですが気持ちの返礼です。ありがとうございました。
- 沼崎君 大野さん、スピーチ有難う！これからもよろしく。
- 大野君 今日は色々な所で入学式が行われてい

ました。日本が平和で本当に良かったです。

- 柴田君 79才の誕生日を迎えました。健康に留意して90才まで生きていければなーと思っています。
- 清水(武)君 大野さんの卓話楽しみにしていました。
- 田端君 大野裕一様本日の卓話楽しみにしております。経験豊富、学びとさせて頂きます。
- 若松君 いつも休んでばかりの気がします。いたって健康で頑張っています。今日は大野さんの卓話楽しみにしています。頑張ってください。
- 渡邊君 大野裕一会員の卓話、大変楽しみにしておりました。どうぞ宜しくお願い致します。

2022-23年度R米山記念奨学カウンセラー 米山奨学生オリエンテーション

が開催され、田端都女子カウンセラーと米山奨学生グエンフォンマイさん、地区役員として東美栄学友委員会委員が出席しました。



日時：令和4年4月3日(日)13:00～
場所：国立女性教育会館

◆ 次の例会 ◆

- 4月29日(金)
例会取り止め
- 5月6日(金)
第2副SAA：田端会員 高田会員
外来卓話：杉田修一様
- 5月13日(金)
第2副SAA：若松会員 東会員
会員卓話：渡邊高治会員
- 5月20日(金)
第2副SAA：江原会員 稲見会員
会員卓話：栗原成実会員

